

# 美術の実践発表 地図について

美術班：曾根川 光祐

## 1. はじめに



今の世の中には街中やニュース、新聞などで日本地図や世界地図が情報を伝える手段の一つとして使用されているのをみかけることがある。しかしそのなかには本来の地図としての機能に重点を置いていないもの、形が湾曲しているもの、示したいものの情報以外を極端に削ったものなど「地図」と断言できないものもある。そこで私は地図の定義と表現について調べてみた。

## 2. 過程

### (1) 地図についての調査

まずは、そもそも地図とはなにを満たしていればよいのか。そして地図の代表例をいくつか調べ、特徴や利点、使用する状況をまとめる。日常で見かけるものとも比べ、それはどの地図の категорияに属するかを調査した。



1. 区分図



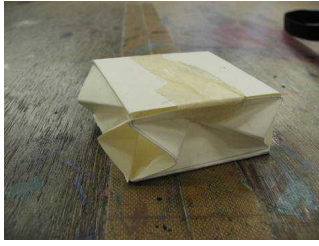
2. 日本地図



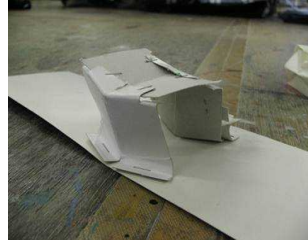
3. イラストマップ

### (2) 新しい地図の研究

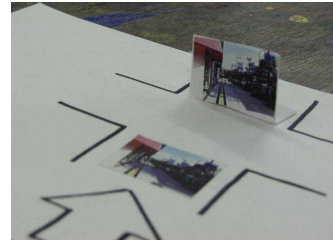
数多くの地図を調べたなかで新しい表現方法はないかと興味を持ち、従来のもの組み合わせや別の分野からのアイデアを利用していくつか試作してみる。今回は現在地がわかりやすいよう見える景色を写真で貼り付けていく。



試作品 1. キューブ型



2. 仕掛け絵本型



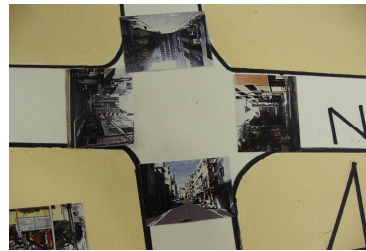
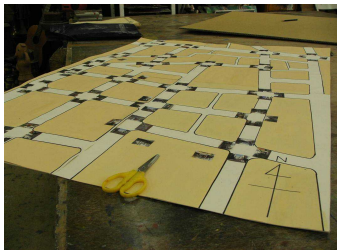
3. 貼り付け型

### (3) 制作にあたっての材料収集

地図をつくる範囲を決め、現場の地理を調査。今回はカメラで街中を通る道路を撮影。

### (4) 地図の作成

実際にこれまでをもとにして地図を作ってみる。完成品を一般的なものと比べての特徴、メリット、反省点をまとめる。



## 3. まとめ

調べてみるとこれまでに見たこともないようなものもあり、地図というものが伝える情報の多様性に驚いた。また実際に新しいものを作り出そうとすると、思っていたものと異なったり、逆に見ずらくなってしまったりと、まだまだ実用できるものとは程遠いものができてしまった。しかし改善するときちんと使えるものにするができるのかんじた。また作成の苦労の中で世の中に使われている地図は洗練されたものだった。

## 4. 参考文献および参考 Web ページ

- ・大阪市区分地図 天王寺区 (昭文社)
- ・仕掛け絵本 恐竜世界 (大日本絵画)
- ・生駒山上マップ
- ・小樽観光マップ
- ・三重大学キャンパスマップ
- ・Google earth
- ・Wikipedia